

個別注記表

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産
社用資産…………… 定率法を採用しています。

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当会計年度に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。
この変更による財務諸表への影響額はありません。

1. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

- ① 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。
- ② ファンド損益の計上
純額法を採用しています。

II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 688千円

III. 株主資本変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の数 1,000株
2. 当該事業年度の末日における自己株式の数 0株

IV. その他の注記

平成27年7月1日設立